

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道311号波田須磯崎バイパス <small>はだすいそぎき</small>	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：三重県
起終点 ：自：三重県熊野市波田須町 至：三重県熊野市磯崎町	延長 ：1.7 km	
事業概要 ：国道311号は、尾鷲市を起点とし和歌山県西牟婁郡上富田町に至る延長155 kmの幹線道路です。波田須磯崎バイパスは大型車のすれ違い困難区間を解消し生活及び産業道路として円滑な交通を確保し、緊急輸送路としての機能を確保するための2車線化事業です。		
H 2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 2年度用地着手
		H 5年度工事着手
全体事業費 ：25億円		事業進捗率 ：63%
計画交通量 ：2,220台/日		供用済延長 ：0.8 km
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.7 (残事業) 2.8	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 9/ 29億円 (事業費：8/ 28億円 維持管理費：1/ 1億円)
		総便益 ：(残事業)/(事業全体) 25/ 49億円 (走行時間短縮便益：24/ 47億円 走行費用減少便益：1/ 2億円 交通事故減少便益：0/ 0億円)
基準年 ：平成17年		
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築・・・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消 ・災害への備え・・・災害による道路寸断で孤立する集落の解消 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ： <p>県紀南地域の市町で構成される「紀南土木行政推進協議会」から当該事業の早期完成を強く要望されています。</p>		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： <p>平成16年7月に、熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録され、熊野古道へのアクセス道路として当該工区の早期完成が望まれています。</p>		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： <p>これまでに、830mを供用開始しており、平成19年度よりトンネル工に着手する予定です。</p>		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： <p>公函混乱地区の解決策としていた国土地籍調査の遅れにより進捗が図れなかったが、今年度完了し、平成20年度に全線供用の予定です。</p>		
施設の構造や工法の変更等 ： <p>平成15年度に計画の見直しを行い、一部の区間を橋梁工から盛土工に変更し、大幅なコスト縮減を図りました。</p>		
対応方針		
対応方針決定の理由 ： <p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>		
事業概要図		